

ほっふい すてっふい
じゃ
JA んふい

2026

10

Vol.332



特集！

おうちでラクラクお買い物！
JAくらしの宅配便



地域を守り、おいしい米を届ける

今月の
表紙

ほそかわ だいすけ
細川 大輔さん(45)

紫波町片寄で水稻を中心に農業を営む細川大輔さん。「銀河のしずく」「ひとめぼれ」をそれぞれ約6ha栽培するほか、牛の飼料となるホールクロップサイレージや牧草も手がけています。

細川さんは、農業関係の会社で15年間勤務し、農業機械や資材の営業を担当。当時から実家の農業を手伝い、

J Aの指導会にも積極的に参加してきました。そうした中、高齢化などで離農する人が増えるにつれ、請け負う農地も徐々に拡大。細川さんは

「両親だけでは手が回らなくなってきたので、自分がやらなければ」と思い、「就農のきっかけを振り返ります。就農当初は、会社員時代との生活リズムの違いに戸惑い、「本当に自分にできるのか」という不安もあったといいますが、前職で培った農業の知識や人脈は、現在の農業経営を支える大きな力になっています。

近年は、猛暑や水不足など農作物に深刻な被害を及ぼす課題にも直面しています。

「特に昨年や一昨年の暑さは辛かったですね。取水制限も



『食農立国』とは、J Aいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。J Aいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。



乾燥調製を終えた「銀河のしずく」は、全量をJAへ出荷します



「今年の米はきれいにできました。実際に食べてみましたが、おいしかったです」と出来栄えに細川さんは太鼓判を押します



最盛期は、午前中から日没まで稲刈り作業が続きます。父・敏彦さんと協力しながら作業をし、休日には息子さんも手伝い、家族で力を合わせて収穫を進めています

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
細川 大輔さん(紫波町)	
特集I	4
おうちでラクラクお買い物! JAくらしの宅配便	
特集II	6
今、知ってほしい 国消国産	
NewsFile	8
再生産可能な米価確保を要請 3市町議会に請願書を提出 他	
営農情報	10
来年の水稲栽培に向けた土づくりについて 他	
女性部レポート	12
食べてみて! おらほのイチオシ	
まちのスマイル	13
生活情報コーナー	
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ!	
インフォメーション	14
青色申告特別控除の見直しについて 他	
今月のレシピ	16
カボチャのマーラーカオ	



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶



あり、必要な時期に十分な水が確保できないこともありました」と話す細川さん。高温対策として、耐暑性の高い資材の散布や追肥方法を工夫し、JAや農業改良普及センターの指導のもと、試験を重ねています。

「『おいしい』と評価してもらえることがやりがい」と話す細川さん。「弟夫婦が飼養する牛のたい肥を圃場に施用し、稲わらは牛の餌、もみ殻は牛舎の敷料に利用しています」など水稲と畜産を組み合

わせた循環型農業にも取り組んでいます。また、耕作放棄地がイノシシなど農作物に被害を及ぼす野生動物の住処となることもあり、農地を適切に維持する重要性も実感しています。細川さんは「米づくりよりも、草刈りのほうが大変なくらい」と苦笑しながらも「農地を荒らすのは簡単ですが、元に戻すのは簡単なことではありません。農業をしながら、地域の環境も守っていかなければいけないと感じています」と力を込めます。

就農当初から、将来的な規模拡大を見据えていたという細川さんは「これからも請け負う農地は増えていくと思いますが、地域の信頼に応えていきたい」と意気込みます。家族や消費者に「おいしい」と喜ばれる米を届け、地域から託された農地を守り、次の世代へつないでいくこと。農地を生かしながら、地域の環境を守っていくこと。その一つひとつの思いを胸に、細川さんはこれからも地域とともに農業を続けていきます。

特集 I

おうちでラクラクお買い物！



JAくらしの宅配便



安心と信頼の
くらしの良品

今年度よりJAでは、これまでの共同購入運動に代わり、食料品や日用品など、毎日のくらしに役立つ商品をご自宅などへお届けする個別宅配サービス「くらしの宅配便」をスタートしました。

今月の特集Iでは「くらしの宅配便」の魅力や、商品の注文からお届けまでのご利用方法をご紹介します。ぜひ、便利で身近なJAの「くらしの宅配便」をご活用ください。



1,000 品目以上の充実した品ぞろえ

くらしの宅配便の魅力



1 安全・安心の エーコープマーク品

エーコープマーク品は、JAグループのプライベートブランドです。安全・安心に配慮し、国内産の原材料を優先的に使用。JAグループ独自の基準に基づいて品質を確認し、毎日のくらしに安心してお選びいただける商品をお届けしています。

2 欲しいものを いつでも、手軽に

カタログから商品を選び、所定の「注文書」で申し込むだけ！注文受付後、約1週間でご指定の場所・時間帯にお届けします。重い荷物や大きな荷物の受け取りもラクラク。スマートフォンやパソコンからのネット注文にも対応しています。

3 まとめ買いで ますますおトクに！

1回のご注文につき、お買い上げ金額の合計が4,500円（税込）以上の場合は配送料無料！初回注文は購入金額にかかわらず、配送料無料でお届けします。

※お買い上げ金額の合計が4,500円（税込）未満の場合は送料550円（税込）をご負担いただきます。

令和8年度農家組合活動助成

「くらしの宅配便」のご利用は生活活動助成の対象になります

農家組合調査の構成員数に対して利用組合員（世帯）が10%以上の場合は達成

※生活部長活動費と一体交付（4,000円）

— 助成区分や割合、交付月などの詳細はJAへお問い合わせください —

売れ筋商品ランキング

（9月末時点）



こめ油 1,500g
1,306円（税込）



高温調理に強く、香ばしくカラッと揚がるので揚げ物に最適！冷めてもべたつきにくく、おいしさが長持ちします。くせのないまろやかな風味で、幅広い料理にお使いいただけます。



紙管なしロールシングル
（130m×6R）779円（税込）



長巻タイプで交換回数を減らし、保管スペースもすっきり。芯がなく、最後まで無駄なく使いきれ省資源設計で、環境にも配慮したトイレトーパーです。



三陸産カットわかめ20g
491円（税込）



肉厚で食べ応えのある三陸産わかめを使いやすい大きさにカットして乾燥しました。水で戻すだけで、みそ汁や酢の物、サラダなど、さまざまな料理にお使いいただけます。

Q

A

よくあるご質問

Q

会員登録をしないと買い物はできませんか？

A

ご注文方法を問わず、ご利用には「会員登録」が必須です。所定の「ご利用申込書」へ必要事項を記入のうえ、最寄りの各地域営農センター生活推進課またはファックスでお申し込みください。

Q

JAの組合員でなくても注文できますか？

A

原則、正組合員・准組合員の方に限ります。非組合員の方は、各支所組合員課で組合員加入をお願いいたします。

Q

注文内容を変更・キャンセルできますか？

A

ご注文内容の変更・キャンセルは注文当日17時まで受け付けいたします。

Q

登録した住所と別の場所に配送できますか？

A

「お届け先」はご自宅以外に4つまで登録が可能です。ご注文時に「自宅」以外をご指定ください。

利用方法

「くらしの宅配便」のカタログ、「ご利用申込書」・「注文書」は10月8日（木）の農家組合配布にてお届けいたします。なお、「注文書」はJAのホームページから、ダウンロードしてご利用いただくか、各地域営農センターにございますので、2回目以降のご注文の際にご利用ください。



1

会員登録 必須

所定の「ご利用申込書」へ必要事項を記入し、最寄りの各地域営農センター生活推進課にご持参いただくか、ファックスでお申し込みをお願いいたします。

2

お申し込み

所定の「注文書」でご注文の方

所定の「注文書」へ必要事項を記入し、最寄りの各地域営農センター生活推進課にご持参いただくか、ファックスにてご注文をお願いいたします。

インターネットでご注文の方

「ご利用申込書」を受付後、ご登録いただいたメールアドレスに、JAからユーザーIDとパスワードをお送りします。「くらしの宅配便」のウェブサイト、ユーザーIDとパスワードを入力・ログインしてご利用ください。

3

お届け

注文受付から1週間ほどでクロネコヤマト宅急便にてご指定の場所・時間帯に直接配達いたします。

4

お支払い

お支払いは口座振替のみです。生活購買代金の口座振替登録がお済みでない方は、別途「口座振替依頼書」の提出が必要となりますので、最寄りの各地域営農センター生活推進課までお問い合わせください。

お問い合わせ

生活推進部生活推進課	019-673-7469 (FAX 019-673-7636)
紫波地区（紫波地域営農センター）	019-676-3342 (FAX 019-672-1595)
矢巾地区（矢巾地域営農センター）	019-697-6211 (FAX 019-697-3175)
都南地区（盛岡地域営農センター）	019-638-0011 (FAX 019-637-5100)
盛岡地区（サブセンター盛岡）	019-656-3700 (FAX 019-659-2833)

特集Ⅱ

今、知ってほしい 国消国産

JAグループが提唱する「国消国産」という言葉を知っていますか？これは、国民が必要とする食料を、できるだけ国内で生産し、消費していこうという考え方です。世界的な人口増加や気候変動、農業の担い手不足など、食料を取り巻く環境が大きく変化する今、国産の農畜産物を選ぶことは、これからの日本の食を支えることにつながります。

今月の特集Ⅱでは「国消国産」が重要とされる背景や、JAグループのさまざまな取り組みについて紹介します。

—なぜ、今「国消国産」なのか— 日本の食をとりまくリスク

農林水産関係の被害額
(2022年)

2,401億円



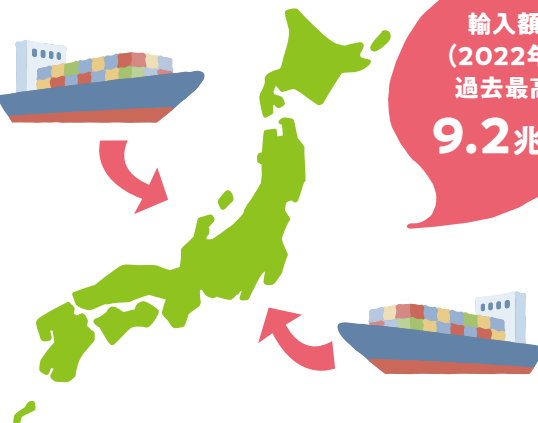
自然災害

国内外では毎年のように大規模な自然災害が相次ぎ、気候変動による農業生産へのリスクも高まっています。こうした不測の事態に備えるためにも、国内で食料を安定的に確保することが重要です。



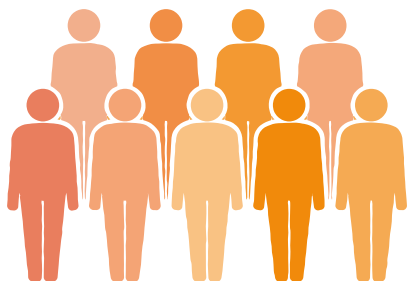
輸入額
(2022年)
過去最高

9.2兆円



輸入依存

日本は、主要な穀物や農業に必要な肥料・飼料を海外からの輸入に大きく依存しています。国際情勢の緊迫化や為替相場の変動などによって輸入価格が上昇し、安定的な輸入にも懸念が生じています。



人口増加

2050（令和32）年に世界の人口は97億人に達すると見込まれており、食料の需要量も2010（平成22）年の1.7倍になると予測されています。世界的な食料需要の増加により、今後、日本が必要な食料を安定して輸入することが難しくなる可能性があります。



農家・農地の減少

国内では、農業の担い手不足と高齢化が進んでいます。基幹的農業従事者は2022（令和4）年の約120万人から約30年後には約30万人にまで減少すると見込まれています。耕作地の減少も続く中、国内の農業生産基盤の維持が課題となっています。



実りの秋！国消国産 JA直売所 キャンペーン2026

実施期間 11月30日(月)まで

管内の
対象店舗

サン・フレッシュ都南



その他の
対象店舗は
こちら



スタンプを集めて応募

選べる! 47都道府県の農畜産物・加工品コース

とっておきの“おいしい”を全国各地からお届け!
JA直売所に2回以上ご来店で応募できます!

各250名様

合計

4,000円相当

11,750名様に当たる!

JA直売所の店内掲示ポスターからQRコードを読み取り
スタンプを集めると、抽選で47都道府県から選べる
4,000円相当の農畜産物・加工品が当たります。

詳しくは
特設サイトへ



お買い物レシートで応募

LINEから! 国産和牛・オリジナルグッズコース

JA直売所で税込1,000円以上お買い物したレシートを
「JA直売所キャンペーンLINE公式アカウント」に送ろう!

合計

500名様に当たる!

抽選で「国産和牛」または「笑味ちゃん×ハロー
キティオリジナルマルシェバッグ」が当たります



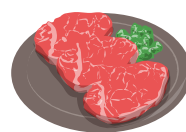
今だけ対象商品がお客様送料負担なし!

JAタウンキャンペーン

実施期間 11月30日(月)まで

※規定数に達した場合、予告なく
終了いたします

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」に
は、全国各地の農畜産物や加工品が大集合!この秋、対
象商品を送料負担なしで購入できるお得なキャンペーン
を実施しています。気になる商品を見つけて、全国の産
地自慢の味を楽しんでみませんか?



ご注文はこちら





櫻裕子盛岡市議会議長へ請願書を手渡す佐々木組合長（左から4番目）ら



再生産可能な米価確保を要請 3市町議会に請願書を提出

ＪＡは盛岡市、紫波町、矢巾町の3市町議会に対し「令和8年産米の再生産可能な価格確保と農業者への支援を求める請願書」を提出し、米の安定的な生産基盤と供給体制を維持するため、農業者への実効性のある支援が講じられるよう、国への働きかけを要請しました。

請願では「農業者が将来にわたって米づくりを継続し、再生産できる水準で米価が形成されるよう、実効性のある需給対策を講じること」など、3項目について国に意見書を提出するよう求めました。



黄金色の田んぼで稲刈り 盛岡市立飯岡小学校

盛岡市立飯岡小学校の5年生48人は9月18日、校舎東側にある水田で、もち米「ヒメノモチ」の稲刈り体験を行いました。

児童らは、5月に田植えをした水田で地元生産者の浅沼清一さんやＪＡ担当者から稲の刈り方を教わり、鎌を使って稲刈りに挑戦。刈り取った稲束を天日に干す「はせ掛け」も体験しました。参加した児童は「稲が硬くて大変だったけれど楽しかった」と笑顔を見せ、浅沼さんは「順調に稲が育ってくれて、たくさん収穫できた」と話しました。



稲を収穫する児童ら



伝統ある長唄や踊りを披露する「盛岡芸妓」の皆さん



「盛岡芸妓」の伝統芸華やかに 紫波地域女性部「わくわくセミナー」

ＪＡ紫波地域女性部は9月30日、紫波支所で「わくわくセミナー」を開き、部員約100人が参加しました。

日本舞踊などの芸事で客をもてなす「盛岡芸妓」の3人を講師に招き、「盛岡芸妓よもやま話」と題して講演。伝統的な長唄や踊りを披露し、芸妓人生を振り返るトークショーでは盛岡弁のユーモアあふれるトークに会場は笑いに包まれました。参加者は「日常では味わえない優雅な時間を過ごせた」「多くの苦労をしながら芸妓を続けてきた姿に刺激と元気をもらった」などの感想を寄せました。

・SDGsへの ・取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



抽出したサンプルを検査する検査員ら



全量1等の好スタート 令和8年産米初検査

JAは9月7日、JA赤石倉庫で県内トップを切って令和8年産もち米の初検査を行い、検査した「ヒメノモチ」約67.5tが全量1等に格付けされました。

検査前のセレモニーには、農産物検査員や関係者など約50人が参加。佐々木雅博組合長は「米を取り巻く厳しい状況が続くが、適正価格の実現を目指し営農継続に結び付けたい」とあいさつ。滝浦新悦もち米生産部会長は「良質米を目指し生産に取り組んできた『ヒメノモチ』特有の口当たりの良さを味わってほしい」と話しました。



世界の子どもたちへワクチン支援 女性部がペットボトルキャップ寄付

JA女性部は9月11日、廃プラスチックを買い取り、再生資源として活用する㈱ピーシングに、ペットボトルキャップ591kgを寄付しました。この査定額は、関係団体を通じて開発途上国の子どもたちへのワクチン提供に充てられます。今回、同部が寄付したキャップは過去最大の重量で、147人分のポリオワクチンに相当します。

鎌田都美子部長は「年々回収量が増えていることにやりがいを感じる。協力してくれる部員の皆さんに感謝し、今後も医療支援に貢献していきたい」と話しました。



回収したペットボトルキャップをまとめる女性部役員



野菜の収穫作業に励む参加者ら



大学生による農業体験 「アグリキャンパス」で地産地消

JAは9月16日、大学生向けの農業体験「アグリキャンパス」を開きました。県内の大学生による学生団体「いわてカーボンフリー・アクション」とJAが連携した農業体験プログラムで、5月から全5回にわたり野菜の作付や圃場の管理などに取り組んできました。

当日は、紫波町内の圃場で野菜を収穫した後、採れたての野菜をバーベキューで味わいました。参加者は「農業は想像以上に苦労が多いと知った。生産者の皆さんに感謝し、地元の農産物を消費したい」と振り返りました。

米穀

来年の水稲栽培に向けた 土づくりについて

今月の担当
サブセンター盛岡米穀課
穴山 沙稀



おいしいお米を育てるためには、収穫を終えた田んぼの土づくりも大切な作業です。来年の水稲栽培に向けた土づくりは秋から始まります。

今回は、土づくりのポイントや作業内容についてご紹介します。

1. 土づくりの方法

地力増進と有機物の腐熟促進のため、次の方法で土づくりを行いましょ。

① 堆肥の施用

完熟堆肥を施用することで、根張りの促進により倒伏耐性や養水分の吸収力向上など、土づくりに対する総合的な効果が期待できます。

② 稲わらの秋すき込みと腐熟促進資材の施用

土壌微生物の活動が盛ん

な秋のできるだけ早い時期に行うことで、より効果が期待できます。また、腐熟促進資材を施用することで、

銘柄	目的				施用量 (kg/10a)	施用時期
	稲わら腐熟	珪酸補給	燐酸補給	その他		
ペレット状わらゴールド	◎				30	秋
鶏ちゃんパワー	○		○	土づくり、基肥・追肥の代替等	30～45	秋・春
シリカ未来		◎			60～100	春
ケイカル		◎			100～140	秋・春
混合りん肥新3号		◎	○	微量要素	100～140	秋・春
石灰窒素	○				20	秋

【表】各種土壌改良資材

生育阻害の原因となる有毒ガスの発生軽減につながります。

③ 土づくり資材の施用

ケイカル等の珪酸質資材を施用することで病気や倒伏に強い稲体づくりが期待できます。また、土壌改良資材は流亡が少なく、秋に施用することで春作業の負担を軽減できます。

2. 秋耕起作業

収穫後の秋耕起は、来年の水稲栽培に向けて大切な作業となります。

秋の耕起作業は雑草の塊茎を冬場に枯死させる効果

や、翌年の雑草の発生を軽減させる効果が期待できます。また、稲株や稲わらをすき込むことで分解が進み、根腐れの原因となるワキの発生を軽減することができ

3. 農作業安全

近年、農作業事故が多発しております。秋が深まるとともに日没が早まることから農作業事故の危険性が高くなります。

ゆとりのある計画的な作業を行い、農作業事故防止を心がけましょ。

令和9年 春肥料・農薬の 配達開始について

配達期間

令和8年10月上旬～
令和9年2月末(予定)

今年度も農薬を10月から
配送いたします

配達に関するお問い合わせ

受注センターフリーダイヤル
0800-800-0007

注文の変更・使用方法に関するお問い合わせ

各地域グリーンセンターへ

子牛市場情報 (令和8年9月18日・中央家畜市場)

地 区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比		地 区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫 波	12	754,000	671,000	726,500	311	10,500	去勢	紫 波	14	869,000	703,000	797,071	324	-18,775
	矢 巾	4	752,000	686,000	725,000	299	39,429		矢 巾	8	953,000	620,000	791,500	315	-30,278
	盛 岡	6	761,000	654,000	728,500	296	1,375		盛 岡	6	898,000	735,000	826,167	323	-29,583
	J A 計	22	761,000	654,000	726,773	305	15,366		J A 計	28	953,000	620,000	801,714	321	-22,324
	市場計	101	785,000	451,000	705,198	295	-12,894		市場計	103	953,000	502,000	787,903	320	-42,520



JAは9月12日と13日の2日間、園芸品目を中心に取引のある富士シテイオ(株)の神奈川県内の2店舗で、9月19日から21日の3日間には、四国・中国地方でスーパーマーケットを展開する(株)フジの広島県・愛媛県内6店舗で宣伝販売会を開きました。会場には生産者やいわて純情むすめ、JA担当者らが参加し、管内産農産物の魅力を来店者に紹介。旬を



旬の農産物をPR！ 県外で宣伝販売会

迎えた管内産のリンゴを試食として提供し、おいしさをPRしました。

試食した来店者からは「甘くておいしい」「岩手県産のリンゴは毎年購入している」といった声が聞かれ、管内産リンゴへの高い関心が寄せられました。生産者が丹精込めて育てた旬の農産物を、県外の消費者に直接PRする機会となりました。

岩手県からのお知らせ

農業資材価格高騰緊急対策事業のご案内

～農業資材の価格高騰に直面する園芸農家の皆様に支援します～

中東情勢の緊迫化等により資材価格高騰の影響を受けている園芸農家の負担軽減を図るため、農業資材の価格高騰額に対して補助します。

補助の対象となる資材

園芸品目(野菜、果樹、花き)の生産に必要な資材のうち、令和8年4月から令和8年9月までの間に購入したナフサ関連資材

詳しくは
こちら



項目	対象資材	対象期間
農業用ビニル(農ビ)	ハウスフィルム、内張りカーテン 等	令和8年5月～ 令和8年9月
農業用ポリオレフィン(農PO)	ハウスフィルム、内張りカーテン 等	
農業用ポリエチレン(農PE)	マルチフィルム、トンネルフィルム、かん水チューブ、育苗ポット 等	令和8年4月～ 令和8年9月
出荷用包装資材	包装フィルム、トレー、袋、パック、フルーツキャップ、緩衝材、ネット、テープ、シール 等	

野菜・果樹・花卉生産部会員については、10月下旬頃に申請書類を発送する予定です。

お問い合わせ先

岩手県農林水産部農産園芸課 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
TEL:629-5709 FAX:651-7172 またはJAいわて中央各地域営農センターへ

生産資材課からのお知らせ

冬期のグリーンセンターの 営業について

11月～3月上旬

土・日・祝日休業

農業用廃棄物(期限切れ農薬など)の回収について

回収日時 令和8年11月7日(土)

回収場所 各地域グリーンセンター

詳細は、10月8日(木)付の組合員配布文書をご覧ください。

女性部レポート
JA Ladies
Female department Report

懐かしのメロディーに笑顔咲く ハーモニカで敬老会に彩り



「矢巾ハーモニーズ」は、同部が開催するレディースセミナーのハーモニカ教室で、月2回の練習を重ねています

JA矢巾地域女性部は9月12日、介護老人保健施設「ハートフルもりおか」の敬老会で、ハーモニカ演奏を披露しました。敬老会には、同施設の利用者など約140人が参加。余興では、同部のハーモニカ教室から結成された「矢巾ハーモニーズ」のメンバー6人が「北上夜曲」など7曲を演奏しました。会場では、参加者が懐かしのメロディーに耳を傾けたり、演奏に合わせて一緒に歌う姿が見られ、笑顔と歌声が広がり和やかなひとときとなりました。

「矢巾ハーモニーズ」の村松龍子代表は「いい緊張感の中、楽しく演奏できた。これからも機会があれば発表していきたい」と笑顔で話しました。

部員
募集中!

【女性部・フレッシュ部加入のご相談・お問い合わせ】

紫波地域 ☎676-3342 矢巾地域 ☎697-6211

盛岡地域 ☎656-3700



パリッと甘く
ジューシーな旬の味

おすすめは

りんご飴 600円(税込)

盛岡市内で約10種類のリンゴをメインに栽培する「かどしげ農園」。土づくりや剪定にこだわり、丁寧に育てた完熟リンゴは、甘みと酸味のバランスが魅力です。そんなこだわりのリンゴを丸ごと使った「りんご飴」は、一般的なりんご飴よりもひと回り大きなサイズが特徴で、つややかな飴のパリッとした食感とリンゴのみずみずしい味わいをぜいたくに楽しめます。さらに、冷蔵庫で1時間ほど冷やしてからカットすると、飴の食感がより際立ちます。使用する品種は旬に合わせて変わり、時期ごとに異なるおいしさが楽しめるのも魅力の一つ。味は定番のプレーンのほか、ココナッツ、シナモン、抹茶の4種類が揃います。地元産リンゴの新たなおいしさに出会える、見た目にも楽しいスイーツです。



盛岡市・門

かどしげ農園

〒020-0823

盛岡市門2丁目21-10

【営業時間】

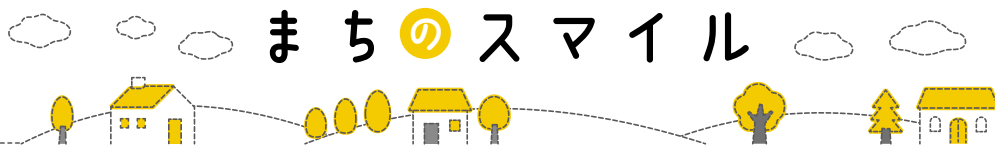
10:00~17:00

【定休日】水曜日



Instagram





なかよし
ファミリー

矢巾町・白沢

きく ち はる き じゅん
菊池 春樹さん(54) 順さん(56)

水稻を中心に小麦や大豆を栽培する菊池家。春樹さんは、代々続く農家で、ご両親とともに農作業に励んでいます。一方の順さんは今年の春、矢巾町南矢幅に駄菓子屋「えん」をオープン。前職の介護職で培った人との「縁」に支えられ、長年の夢を形にしました。

家業を守り継ぐ春樹さんと新たな道を切り拓く順さん。「それぞれの仕事を理解し、支え合うこと」が何よりの夫婦円満の秘訣と声を揃えます。忙しい日々の合間には、ご夫婦で温泉へ出かけ疲れを癒すのが楽しみ。「これからも健康に年を重ねていきたい」と笑顔を見せました。

くらしに役立つおすすめ情報をお届け！

生活情報コーナー

寒い季節を快適に♪

おすすめは

ガスファンヒーター



暖房機器の
取り付け・取り替えは
JAいわて中央燃料課まで!!



即着火!

即暖房!

ニオイ
なし!

手間
なし!

ガスのパワーでぽかぽかな冬を過ごしてみませんか?

お問い合わせ

JA燃料課
紫波・矢巾地区 ☎697-3950
都南地区 ☎697-6446
盛岡地区 ☎698-2510



サン・フレッシュ都南さ
おでっくなんせ!



今月の店長のおすすめ!

里芋



秋から冬にかけて旬を迎える里芋。なかでも、地元・津志田地区で生産される「津志田芋」は独特の粘りが特長で、食感が魅力です。定番の芋の子汁はもちろん、揚げ物やグラタンにもおすすめ! 旬ならではのおいしさをぜひ当店で買い求めください。

イベント情報

●JAいわて中央・サン・フレッシュ都南
秋の収穫感謝祭
10月17日(土)・18日(日)



サン・フレッシュ都南

盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801 営業時間9:00~18:00

クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、
今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛に
お送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都
南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月の
テーマ

文化祭の思い出

応募締切 10月27日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20

JAいわて中央

「JAんぷ10月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム▶

E-mail

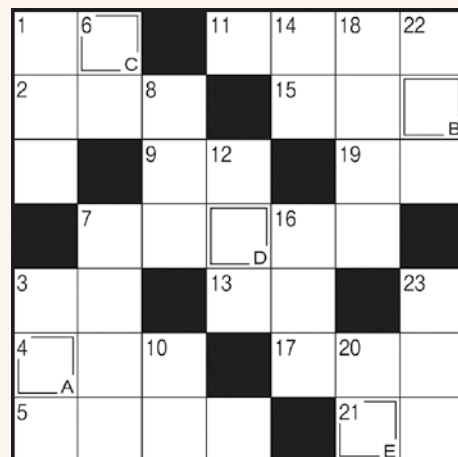
kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

＼コチラから／



9月号の答え

「クツワムシ」



※ご記入いただいた個人情報、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ①——食べば鐘が鳴るなり法隆寺(子規)
- ②ヒトコブだったりフタコブだったり
- ③味噌煮にしてもおいしい魚
- ④元のものから分かれ出ること。新たな問題が——する
- ⑤橋につけられた柵
- ⑦油絵を描くのに使う布。画布ともいいます
- ⑨——の上にも三年
- ⑪転居、屋移りともいいます
- ⑬漢字から作られました
- ⑮歯を抜くときにかけるもの
- ⑰付けている人は誰なのかが書いてあります
- ⑲寺院に入るときくぐることも
- ⑳彼はクラスで——を抜いて足が速い

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ①おでんにつける黄色い薬味
- ③アフリカ大陸北部に広がる——砂漠
- ⑥仏花によく使われます
- ⑦運動会の競技のひとつ
- ⑧小豆は昔、赤い——と呼ばれました
- ⑩えんぺらがある魚介類
- ⑫ダーウィンが提唱した——論
- ⑭夫の配偶者です
- ⑯皮がむきやすい黄色い果物
- ⑰秋桜ともいわれる花
- ⑲いざというとき、体を膨らませる魚
- ⑳酒などを買う前に、味や香りを確認
- ㉑『考える人』で知られる彫刻家



おたより紹介 テーマ▶わたしの食欲アップ飯



食欲アップ飯といえば、この時期定番とも言える「栗ご飯」です。栗の皮むきは大変だけど、甘じょっぱい栗のホクホク感と新米との相性は絶品です。ぜひみなさんもお試しあれ！
(太田・T／70歳)

私は漬物が大好きで、漬物があれば、ほかにおかずがなくてもご飯を食べることができます。スーパーや産直で購入した様々な野菜の漬物を常備し、食欲アップを図っています。
(南仙北・K／68歳)

しょっちゅう義弟が釣ってくるヒラメで「ヒラメ丼」を作って食べることで。丼飯にぜいたくに厚めに切ったヒラメをのせて、卵の黄身を真ん中に落として食べます。家族全員が大好きです。最高のご飯です。
(三ツ割・O／60歳)

わたしの食欲アップ飯は秋刀魚です!!ちゅうど旬をむかえているので、ご飯が進みます!!食べ過ぎには気を付けなければ…。
(佐比内・K／26歳)

ねばねば食品のオクラ、長芋、納豆、メカブなどを混ぜて、しょうゆで味付けして食べるのがわたしの食欲アップ飯です。

(中島・I／76歳)

焼肉や納豆やカレーに自家製ニンニクを擦りおろしてたっぷり入れることです。食欲がどんどんわいてきます。新米の季節だとニンニク味噌もご飯が進みます。おいしくて食べ過ぎてしまいます。

(東徳田・K／76歳)

課

◇藤澤紀久子(営農販売部盛岡地域営農センター米穀課)
◇三浦奈都美(営農販売部盛岡地域営農センター園芸特産課)

令和8年9月30日付で次の方が退職されました。今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。()は前所属。

退職者

3 令和8年産酒造用米概算金の決定
2 大口貸出の決定

1 当組合における取引のリスク評価書・総括表の一部変更

【決議事項】

9月定例理事会が9月29日、紫波支所で開かれた次の事案について決議されました。

理事会報告

役員手帳



食料システム法機能せず 食料安全保障に赤信号

代表理事組合長
佐々木 雅博

昨年は、長く続いてきた厳しい経営環境がやっと一息つけた秋となりました。しかし今年は一転、米の在庫量が過去最高水準となり、米価も大幅に下落するなど、農業経営を取り巻く環境に暗い影を落としています。

一昨年からの「令和の米騒動」を通じ、私たちは改めて食の大切さを実感したはずですが、それにもかかわらず、喉元を過ぎれば、米価が物価高騰の象徴として報道される一方、資材価格の高騰が続く中で、懸命に生産に取り組む農業現場の努力が十分に伝えられていないことに心が痛みます。

今年4月に施行された食料システム法は、持続的な再生産に必要なコストを踏まえ、農業者が再生産可能となる合理的な価格で取引できる環境を目指すものです。しかし、施行1年目からその理念が十分に機能しているとはいえず、国が掲げる食料安全保障に赤信号であることを示しています。

先般、岩手県、盛岡市、紫波町、矢巾町に対し、国の責任において持続可能な農業政策を実現するよう要請活動を行いました。今がまさに正念場です。協同組織として現場の声を発信し続けるとともに、食料を安定的に生産できる環境を次世代につないでいくため、農業・農村の重要性を広く伝えていかなければなりません。

INFORMATION

青色申告特別控除の見直しについて (令和8年度税制改正)

令和8年度税制改正により、令和9年分確定申告以降、青色申告されている個人事業主等の方の青色申告特別控除の見直しが行われます。

令和9年分以降の確定申告で青色申告特別控除(75万円又は65万円)を適用するためには、e-Taxの利用や複式簿記による記帳等が必要となることから、適用をご検討の方で対応がお済みでない場合は、お早めの準備をお願いします。

【主な改正事項】

- 複式簿記による青色申告特別控除(75万円又は65万円)の適用は、e-Taxが要件となります
- 簡易簿記による青色申告特別控除(10万円)の適用は、前々年の収入が1,000万円以下の方等に限定されます。

詳細につきましては、二次元コードからリーフレットをご確認願います。

No.	リーフレット	二次元コード
1	【令和9年分確定申告から適用】優良な電子帳簿の保存又はデジタルシームレス保存により75万円の青色申告特別控除を適用しましょう！(令和8年6月)	
2	簡易簿記による10万円の青色申告特別控除を適用している皆様へ 令和9年分以後の所得税について、事業所得又は不動産所得に係る、10万円控除要件が変わります！(令和8年4月)	
3	事業所得や不動産所得等のある方には帳簿の記帳・保存義務があります！(令和8年6月)	

各地域秋まつりのご案内

第41回紫波町産業まつり

日 時 10月17日(土)10時～16時／18日(日)9時～15時
場 所 サン・ビレッジ紫波

令和8年度矢巾町秋まつり

日 時 10月17日(土)10時～16時／18日(日)10時～16時
場 所 矢巾町役場駐車場内特設会場

JAいわて中央・サン・フレッシュ都南 秋の収穫感謝祭

日 時 10月17日(土)9時～16時／18日(日)9時～15時
場 所 サン・フレッシュ都南店・JA都南支所第1駐車場内特設会場

第40回美食王国もりおか農業まつり

同時開催「もりおか味と工芸展」[会期:10/15(木)～10/19(月)]

日 時 10月17日(土)10時～15時／18日(日)10時～15時
場 所 パルクアベニュー・カワトク(8階屋上SORABAほか)

This month's recipe.

新鮮食材で
楽しく
クッキング
今月のレシピ
185杯目



カボチャのマーラーカオ

材料(15cm丸型4個分)

【A】

薄力粉…………… 150g
ベーキングパウダー …… 小さじ3/4
重曹…………… 小さじ1/4

カボチャ …… 蒸した状態で100g
(蒸す前だと110gくらい)
卵…………… M2個(1個当たり60g)
砂糖…………… 100g
練乳…………… 40g
牛乳…………… 50ml
植物油…………… 60g
しょうゆ …… 小さじ1
クコの実 …… 適量

作り方

- ① カボチャは種を取り、皮をむく。串がスッと刺さるくらいまで電子レンジで加熱し、熱いうちにつぶす。加熱時間は600Wで1分30秒が目安。【A】を合わせてふるっておく
- ② 丸型にクッキングシートを敷いておく。多めのお湯を沸かして蒸し器をのせておく
- ③ ボウルに卵を割り入れて溶き、砂糖を加えてよく混ぜる。練乳、牛乳、植物油、しょうゆ、①のカボチャを順に加え、その都度よく混ぜる
- ④ ③に【A】を加えて軽く混ぜ、型に流し込んでクコの実をのせて強火で40分蒸す(お湯がなくならないように注意)。竹串を刺して生地がくっついてこなければ型から取り出し、出来上がり

編集後記



佐々木

今月のおたよりテーマは「わたしの食欲アップ飯」。ご紹介したほかに、家庭菜園の野菜で作る山形の「だし」風や麻婆茄子丼、具だくさんの豚汁や豚キムチ、おから入りカレーや土鍋ご飯におこわまで! たくさんのおたよりが届き、読むだけでお腹がすいてきました。10月は国産国産月間。国産農畜産物をおいしく味わい、食欲の秋を楽しみましょう!



小倉

今回の「なかよしファミリー」では、順さんが始めた駄菓子屋さんを訪ねました。懐かしい駄菓子がずらりと並ぶ店内に、ふわっと漂う甘い香ばしい香り。この正体は、お店の人気商品「焼きいも」です! サツマイモが旬を迎えるこの季節、焼きいもの香りに秋の訪れを感じ、心までほっこり温まりました。皆さんはどんな秋を楽しんでいるのでしょうか?

